

単元名 音楽の構造と曲想との関わりを理解して【旧】

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについて理解することができる。
 (2) 曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
 (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開

12260106_001

【教材名】ボレロ 組曲「惑星」から第1曲「火星」

(下 P. 24～P. 27)

【準備等】鑑賞音源、鑑賞映像

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 楽曲について知り「ボレロ」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作曲者や、時代背景を知る。 ○ 楽曲の形式について理解する。 <p>★繰り返される二つの主題やリズム、巧みなオーケストレーションの効果について話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲を聴き、気付いたことや諸要素から醸し出される効果について話し合う。 ○ 音楽のよさや、美しさを味わって鑑賞する。 <p>3 楽曲について知り、組曲「惑星」から第1曲「火星」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作曲者や時代背景を知る。 <p>★「火星」を聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲の形式について理解する。 ○ 繰り返される特徴のあるリズムや三つの主題に応じた曲想の変化を味わって鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舞曲であり、元はバレエ音楽として作曲されたことを留意させる。 ・ 展開をせずただ二つの主題がくり返されるだけであるが、巧みなオーケストレーションによって生み出される豊かな表現を味わわせる <p>【評】「ボレロ」の構成を理解し、それと関連する曲想を感じ取って聴く活動を通して、「知識」を評価する。</p> <p>【評】「ボレロ」の表現の特徴や表現の固有性を理解して自分の価値意識を述べる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】「ボレロ」の鑑賞を基盤にして「火星」の構成や特徴を理解する活動を通して、「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近代のオーケストラの響きを味わわせ、数多くの管楽器、打楽器を取り入れた表現の工夫を感じ取らせる。 <p>【評】「ボレロ」と「火星」の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】「ボレロ」や「火星」のよさや美しさを味わって聴く活動に主体的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

「ボレロ」では、二つの主題の反復、スネアドラムや弦楽器などで繰り返されるリズムによって、音楽が構成されていることを理解させ、それらが生み出す雰囲気や曲想を感じ取らせる。また楽曲全体にわたる強弱の設定や、多様な楽器の響きの組み合わせの効果についても感じ取らせたい。

「火星」では、5拍子による特徴あるリズムの繰り返しの中で現れる三つの主題が曲想に応じて変化していく効果を感じ取らせたい。

【共通事項】音色・リズム・旋律・テクスチャ・強弱・構成